

# 科学者の役割

科学者の役割を考えるには、科学者とは何かを考えることから始める必要があるだろう。どんな仕事をしているのか、それを職業として考えるならどんな職業か、社会の中ではどのように位置づけられているのかなど。科学者と呼ばれる人たちが現れたのは決してそんなに古いことではないが、それらは時代によって変わり、今も変化している。従って科学者は、いま何をし、何ができるのかを慎重に考える必要がある。“いま”という時代は、持続性（サステナビリティ）という言葉で特徴付けられるが、それは科学の質的变化を意味しているのもであって、この大きな変動の中にある科学者を考えることになる。

ここでは、科学者とは何かだけでなく、科学者の権利と責任、科学研究、科学者コミュニティについて、そして一方、社会への科学的知識の浸透、社会での科学者の位置付け、社会から科学者への要請、科学者から社会への助言、などを考察しながら、科学の影響を強く受けて過去になかった状況を作り出した現代を概観し、その中で科学者の役割、それはかつてなく厳しくかつ明確な輪郭を与えられているが、それを考えることにする。

## 講師 吉川 弘之 氏

((独) 産業技術総合研究所理事長、元東京大学総長)

### 略 歴：

昭和31年 3月 東京大学工学部精密工学科 卒業  
昭和31年 4月 三菱造船入社  
昭和31年10月 株式会社科学研究所(現 理化学研究所) 入所  
昭和41年 4月 東京大学工学部助教授  
昭和53年 7月 東京大学工学部教授  
平成 元年 4月 東京大学工学部長  
平成 5年 4月 東京大学長  
平成 9年 7月 日本学術会議会長  
平成 9年 9月 日本学術振興会会長  
平成11年 9月 国際科学会議会長  
平成13年 4月 独立行政法人産業技術総合研究所理事長

専門分野：設計学、ロボット工学、信頼性工学

### 受賞等：

蓮沼記念賞(平成7年)、SME 教育賞(平成7年)、大川出版賞(平成8年)、日本国際賞(平成9年)、英国 ストラスクライド大学名誉博士(平成8年)、オランダ トウエンテ大学名誉博士(平成8年)、レジオン・ドヌール勲章オフィシエ(平成12年)

### 著 書：

- 「産業科学技術」の哲学 吉川弘之/内藤耕 /東京大学出版会 H17
  - 科学者の新しい役割 吉川弘之 /岩波書店 H16
  - 逆工場(B&Tブックス) 見えてきた製造業これからの10年 吉川弘之/IM研究会 /日刊工業新聞社 H11
  - 現代幸福論(東京大学公開講座) 吉川弘之 /東京大学出版会 H9
  - テクノグローブ 吉川弘之 /工業調査会 H5
- その他 多数